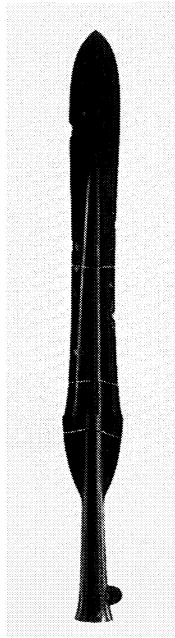


日本の美 — 縄文から江戸まで —



重要文化財 兜跋毘沙門天立像 (奈良国立博物館)



国宝 荒神谷遺跡出土品 銅矛 (文化庁)

本展は、東京国立博物館をはじめとする各国立博物館と文化庁が所蔵する貴重な文化財の中から、名品約120件を展示するものです。国宝4件、重要文化財40件、重要美術品1件を含む作品は、各分野・各時代を代表する優品ばかりです。

縄文土器の大胆なデザイン、仏像彫刻の優美と迫力、室町水墨画の持つ静謐、桃山時代の染織の華麗、江戸期のやきものの典雅な意匠など、日本の美の精華をあますことなくご紹介いたします。また、いわき市「山の上(金冠塚)古墳出土品」や東和町の「木幡山経塚出土品」など県内の出土品や、芦名盛氏と交流を持ち三春に隠棲した室町時代の画僧・雪村の「琴高仙人・群仙図」など、福島県にゆかりのある資料もあわせて陳列いたします。この機会に是非、「日本の美」の世界をご覧ください。

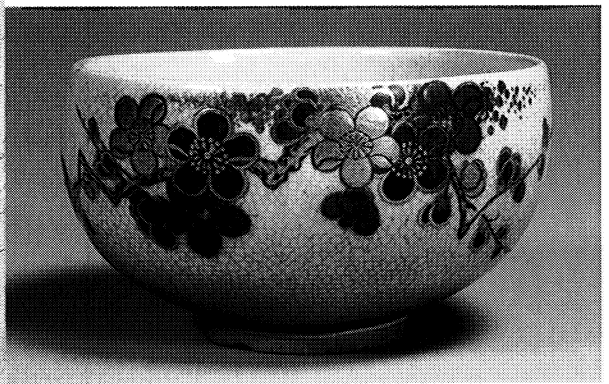


重要文化財 北野天神縁起絵巻 (東京国立博物館)

会 期：平成11年1月26日(火)～2月21日(日)
休館日：毎週月曜日・祭日の翌日(2/12)

企画展観覧料：一般・大学生 350円(280円)
高 校 生 200円(160円)
小・中 学 生 130円(100円)
※()内は20名以上の団体料金

企画展記念講演会
「魅せるセンス・美のエッセンス」
1月26日(火) 13:30～(当館講堂)
講師 東京国立博物館学芸部
企画課普及室室長 村野隆男氏
記念連続講演会
「祈りの造形 — 仏教美術の世界」
第1回
「仏画の世界 — 普賢十羅刹女像を中心に」
1月31日(日) 13:30～(当館講堂)
講師 東北大学教授 有賀祥隆氏
第2回
「『壇像』の系譜」
2月7日(日) 13:30～(当館講堂)
講師 東京国立博物館次長 鷲塚泰光氏
第3回
「仏教工芸の世界」
2月14日(日) 13:30～(当館講堂)
講師 帝塚山大学教授 河田 貞氏



色絵梅花文茶碗 仁清作 (東京国立博物館)